だし丸くんしポート ～第八回 はんだ山車まつり～

第4回 はんだ山車まつりをきっかけとした商店街の活性化に向けて

半田市商店街連合会 会長 城平（じょうへい） 直人（なおと）

「いらっしゃいませ―！醸す丼いかがですか―！？」「高校生と商店街のコラボ商品です！」などと、大きな声で高校生が掛け声を出している『ごはんだ食まつり』会場を見たことはありますでしょうか？我々、半田市商店街連合会は地域活性化や商店街・醸す―KAMOSU―のPRの為、日々活動しており、最近では半田農業高校や半田商業高校と連携し『商学連携』にも力を入れています。昨年度は、金山総合駅や知多半島道路PAなどでの販売、また愛知県知事に表敬訪問するなど活発な活動をしております。

そして、今年はその発表の場に最適な「はんだ山車まつり」が開催されます。31輌が勢ぞろいした山車の壮観さや50万人以上が来場される街の雰囲気など、山車まつりが楽しみでワクワクしています。私自身も山車まつり実行委員会メンバーの一員として、参加しています。しかし、年配者の方からよく耳にするのは「昔の街は山車まつり開催日くらい活気に溢れていた」です。現在の商店街は店舗数の減少や店舗の衰退、後継者不足などによる空き店舗の割合が多くなり、ますます活気が失われています。今後は、消費者の志向に合わせた中心市街地の在り方、商店街、個店の役割の変化が求められています。商店街活性化のためには、様々な施策を実施・活用、そして、山車まつりのように歴史・伝統・文化を継承し、賑わいを創出して、衰退から繁栄に変えていかなければなりません。

その第一歩として、山車まつり会場ではどこよりも活気良く元気に『ごはんだ食まつり』を盛大に開催し、賑やかしを行いますので、是非お立ち寄りいただければ幸いです。

防災 Memo

地震時に自宅を火元にしないために

取付や申請手続きの支援を行っていますのでお問い合わせください。

東日本大震災で発生した火災の過半数が電気関係の出火でした。電気に起因する火災を防ぐため、感震ブレーカーを設置しましょう。

感震ブレーカー（簡易タイプ）の購入費の一部を補助しています。

補助対象者

①火災の延焼拡大の恐れのある地域
②65歳以上の高齢者のみの世帯
③心身障がい者のいる世帯
④母子家庭などの世帯

強い揺れにより重りが落下してブレーカーを切ります。

●問合わせ　防災交通課　☎84-0626

VEGETABLE OIL INK
植物油インキ使用
再生紙使用
印刷　東海通信印刷㈱

編集・発行　半田市企画課　〒475-8666 半田市東洋町二丁目1番地　☎0569-21-3111（代表）　FAX0569-25-2180
毎月1・15日発行（5月・8月・12月は月1回）　http://www.city.handa.lg.jp/　Eメール　kouhou@city.handa.lg.jp

情熱、蔵出し。半田市。